

中1

単元名 持続可能な社会と私たち—地理的な見方・考え方って？—

配当時間 1時間

単元の目標

- (1) 社会的な事象を地理的に捉える際の五つの見方・考え方について理解することができる。
- (3) 地理的な見方・考え方を働かせる地理学習に向けての期待を抱き、意欲的に授業に取り組もうとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 小学校の学習を振り返り、地理的な見方・考え方を学んだり、地理を学ぶ目的や意義を理解したりする。</p> <p>★中学校の地理では、どのようなことを学ぶのだろう。</p> <p>○小学校で学習した内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none">・身近な地域（3年生）・愛知県について（4年生）・日本の産業について（5年生） <p>○教科書の資料を基に、持続可能な社会について考える。</p> <p>○教科書の資料を基に、地理的な見方・考え方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・農村地域のいちご農家は、道路沿いに分布している。 （1位置や分布）・都市地域には畑などはなく、オフィスなどが集中している。（2場所、5地域）・ビニールハウスを使って、温度調整しながらいちご栽培を行っている。（3人と自然との関わり）・農村地域と都市地域を結ぶ道路によって、農作物や人が移動しやすく、二つの地域をつなぐ役割を果たしている。（4地域どうしのつながり） <p>○地理的な見方・考え方を知り、今後どのように学んでいきたいかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・これから五つの見方・考え方を生かして地理の学習をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none">・教P. 巻頭1～巻頭4・どのような学習をしたか、社会科見学はどこへ行ったのかなど、全体で発表させる。・学習を進める上で地域の課題を捉えていくことが重要であることを押さえる。・農村地域と都市地域の特色に着目して考えさせる。また、二つの地域を結ぶ道路が果たしている役割を考えさせる。・地理的な見方・考え方を活用して、今後は世界と日本の特色や課題について学習していくことを押さえる。 <p>【評】教科書の資料から地理的な見方・考え方を見つけたり、話し合ったりする活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

単元の目標

- (1) 世界と日本の地域構成を大観し、理解するとともに、さまざまな資料から、世界と日本の地域構成についての情報を適切に読み取ることができる。
- (2) 世界と日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察したり、文章や略地図などで適切に表現したりすることができる。
- (3) 世界と日本の地域構成に対する関心を高め、身に付けた概念を今後の学習に生かそうとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 世界と日本について大観し、地理的学習への見通しをもつ。</p> <p>★世界や日本について、知りたいことを見つけよう。</p> <p>○日本について、知っていることを発表し合う。</p> <p>○世界について、知っていることを発表し合う。</p> <p>○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県以外にも、工業が盛んな都道府県があるのか知りたい。 ・日本はアメリカとの関係が強いが、他の国とのつながりはどうなっているのか知りたい。 <p>●世界と日本は、どのような姿をしているのだろう。</p> <p>2 地球の姿を調べる。</p> <p>★地球上で、大陸や海洋はどのように広がっているのだろう。</p> <p>○六大陸と三大洋について調べる。</p> <p>○六つの州について調べる。</p> <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■世界はどのような姿をしているのだろう。</p> <p>3 国名や国旗に着目して、主な国々の名前と位置を調べる。</p> <p>★世界には、どこにどのような国があるのだろう。</p> <p>○地図や統計資料を使って、国名や国旗に着目しながら、主な国々の名称と位置を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三日月と星が入っている国旗は、イスラム教の国が多い。 ・オセアニア州には、イギリスの国旗が入った国旗の国がある。 <p>4 国境や人口、面積に着目して、主な国々の名前と位置を調べる。</p> <p>○知っている国を全体で発表する。</p> <p>★世界には、どこにどのような国があるのだろう。</p>	<p>・教 P. 2～3</p> <p>・小学校で学習した内容や、各地方の文化、行ったことがある都道府県などを自由に発表させる。</p> <p>・知っている国や外国の文化などを自由に発表させる。</p> <p>【評】世界や日本について知っていることを発表し合い、地理的分野の学習に見通しをもつ活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・世界や日本について学習していくための基礎となる単元であることを確認する。</p> <p>・教 P. 4～5</p> <p>・地球儀を回してみ、大陸や海洋の広がり様子の違いに着目して追究させる。</p> <p>(位置や分布)</p> <p>・どの生徒も、地球儀に直接触れることができるようにする。</p> <p>【評】地球儀を活用して六大陸や三大洋を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・大陸名との関係に着目して追究させる。</p> <p>・州は、さらに細かな地域に分けられることを確認する。</p> <p>・教 P. 6～7</p> <p>・国名や国境が似ている国は、どのように分布しているのかに着目して追究させる。</p> <p>(位置や分布)</p> <p>・自分でテーマを決めて調べさせる。</p> <p>【評】国名の由来や国旗のモチーフなどに着目して調べ、共通点を見つける活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 8～9</p> <p>・発表した国について、知っていることがあれば発表させる。</p> <p>・人口の多い国や面積の広い国は、それぞれ</p>

<p>○統計資料の使い方を知る。</p> <p>○地図や統計資料を使って、人口・面積に着目しながら、主な国々の名称と位置を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が多い国に着目して調べたら、中国やインド、インドネシアなど、アジア州の国に多いことが分かった。 <p>5 緯度・経度の仕組みを調べる。</p> <p>★世界の国々や都市の位置は、どのように表せばよいのだろう。</p> <p>○緯度と経度の仕組みを調べる。</p> <p>○地球上の位置を表すために必要な基準を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度（緯線） ・経度（経線） ・赤道 ・本初子午線 <p>○地球上の位置を、緯度・経度を使って表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は、北半球にある。 ・ニューヨークは、北緯41度、西経74度にある。 <p>6 地球儀と世界地図の特色を調べる。</p> <p>★地球儀や世界地図には、それぞれどのような特色があるのだろう。</p> <p>○地球儀と世界地図について調べ、それぞれの特徴を見つける。</p> <p>○地図の図法と使い道を調べる。</p> <p>○地球儀と世界地図の違いや、図法の違う地図の活用場面を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球儀は、地球を正確に表すことができる。 ・メルカトル図法は、緯線と経線が直角に交わっていて見やすいが、高緯度の面積が大きくなっている。 ・正距方位図法は、距離と方位は読み取りやすいが、大陸の形が分かりにくい。 <p>7 世界の中の日本の位置の表し方を調べる。</p> <p>○日本が地球上のどこにあるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーラシア大陸の東にある。 ・東経 135 度を通るところにある。 <p>★世界の中で、日本の位置はどのように表すことができるのだろう。</p> <p>○緯度・経度に着目して、日本の位置を調べる。</p> <p>○他国や大陸、大洋との位置関係に着目して、日本の位置を調べる。</p>	<p>どの州に多いか着目させる。(位置や分布)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や地図帳の巻末資料を使って、国名や面積、人口などの調べ方を確認する。 ・教 P. 9 の「トライ」を活用させる。 <p>【評】人口や面積に着目し、統計資料を活用して世界の国々について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 10～11 ・緯度・経度を用いた位置の表し方に着目して追究させる。(位置や分布) ・実際に地球儀を使いながら考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 11 の「スキルUP」を活用させる。 <p>【評】緯度・経度、緯線・経線、赤道、本初子午線の意味を理解し、地球上のさまざまな国や都市の位置を説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 12～13 ・地球儀や世界地図で大陸や大洋がどのように見えるか、見え方の違いに着目して追究させる。(位置や分布) ・地球儀と世界地図を見比べさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな図法を見て、どのような情報を正確に読み取ることができる地図なのかを押さえる。 ・教 P. 13 の「トライ」を活用させる。 ・それぞれの図法の長所と短所を見つけさせ、どのような場面で活用できるか考えさせる。 <p>【評】地球儀や地図のさまざまな図法の活用場面を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 14～15 ・これまで学習した知識を活用して、日本の位置を表現させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・緯度・経度から表す方法や、世界の国々、大陸、大洋との位置関係から表す方法に着目して追究させる。(位置や分布) ・緯度・経度が日本と同じ範囲にある国を調べさせる。 ・地図帳を活用させる。 ・どの位置から日本を見るかによって、日本の位置が変わることを押さえる。 <p>【評】絶対的位置や相対的位置の視点から日本の位置を表現する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
---	--

<p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■日本は世界の中で、どのように広がっているのだろう。</p> <p>8 日本と世界各地との時差を調べる。</p> <p>○時差について知っていることを発表する。</p> <p>★日本と世界各地との時差はどのくらいあるのだろう。</p> <p>○時差の仕組みについて調べる。</p> <p>○日本と世界各地との時差を調べる。</p> <p>9 日本の領域の特色について調べる。</p> <p>★日本の領域はどこまで広がっていて、どのような特色があるのだろう。</p> <p>○日本の領域や排他的経済水域について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領土 ・領海 ・領空 ・排他的経済水域 <p>○日本の海の国境について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土は、北海道・本州・四国・九州の四つの大きな島と周辺の小さな島々、離島から成り立っているため、内陸国よりも領域が広い。 <p>10 日本の領域をめぐる問題を調べる。</p> <p>★日本の領域をめぐる問題は、なぜ起きているのだろう。</p> <p>○北方領土について調べる。</p> <p>○竹島について調べる。</p> <p>○領土問題の解決に向けての取組を調べる。</p> <p>○尖閣諸島をとりまく情勢について調べる。</p> <p>○調べたことを基に、日本の領域をめぐる問題が起こった理由についてまとめる。</p> <p>11 日本の都道府県と7地方区分について調べる。</p> <p>★日本は、どのように地域区分されているのだろう。</p> <p>○都道府県や県庁所在地について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教P. 16～17 ・海外旅行やテレビの中継などを話題にして、時差について想起させる。 ・時差が生じる仕組みに着目して追究させる。(地域どうしのつながり) ・地球は24時間で一周(360度)することから、15度ごとに1時間の時差が生じることを押さえる。 ・教P. 17の「スキルUP」を活用させる。 ・複数の標準時を設けている国では国内で時差が生じていることや、日付変更線の西側は東側よりも日付が1日進んでいることを押さえる。 <p>【評】標準時や時差の仕組みを理解し、時差を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P. 18～19 ・日本は島国であり、周りが海に囲まれていることに着目して追究させる。 <p style="text-align: right;">(位置や分布)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は小さな島が多いため、排他的経済水域が他国と比べて広いことに気付かせる。 ・沖ノ鳥島がなくなると、日本は40万km²もの排他的経済水域を失ってしまうことを確認する。 ・海洋国である日本の国境は、すべて海上に引かれていることを押さえる。 <p>【評】日本の領域の特色を、日本が海洋国であることと関連付けて考察する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P. 20～21 ・歴史的背景を踏まえて、島国(海洋国)である日本と周りの国々との位置関係に着目して追究させる。(位置や分布) ・北方領土も竹島も、歴史的背景から日本の固有の領土であることを押さえる。 ・領土が広がると、どんな利点があるのかを考えさせる。 <p>【評】日本の領域をめぐる問題を多面的・多角的に捉え、まとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P. 22～23 ・7地方の地域的なまとまりに着目して追究させる。(位置や分布) ・都道府県をいくつかまとめて呼んでいる名称で知っているものを発表させる。 ・都道府県が設置された歴史的背景や、多くの都道府県で自然の地形が県境になっていることにも着目させる。
--	---

<p> ○日本の地方区分について調べる。 ○都道府県名の由来や、特徴のある都道府県について調べる。 </p> <p>12 単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p> ●世界と日本は、どのような姿をしているのだろう。 ○世界を紹介するポスターを作り、単元を通して学習した内容をまとめる。 ○日本を紹介するポスターを作り、単元を通して学習した内容をまとめる。 ○世界と日本の地域構成の学習を振り返る。 </p>	<p> 【評】都道府県や県庁所在地の名称と位置を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・それぞれの地方の特色を考えさせる。 ・愛知県の由来を全体で押さえる。 (参考 愛知県ホームページ) ・教 P. 24～25 </p> <p> ・ポスターに単元を通して学習した内容をまとめさせる。 </p> <p> ・これからの学習や生活に生かしていきたいことを振り返らせる。 </p> <p> 【評】これまでの学習内容を踏まえ、世界と日本の地域構成の学習における自己の学習過程を振り返る活動を通して、「主体的に取り組む態度」を評価する。 </p>
--	--

【 備 考 】